

平成29年度 佐久長聖高校 学校関係者評価

評価 A:十分できている B:概ね十分できている C:やや不十分 D:不十分 E:評価できない

分野	評価項目	評価の観点	評価	今後やるべきこと、実施に当たっての問題点
学 習 指 導	授業内容の充実	1 授業評価を適宜行い、その内容を踏まえて授業の方法を工夫・改善して、生徒の学ぶ意欲を喚起しているか。	B	・大学入試だけでなく社会そのものが変わっていき求められる人物像も変わるため指導スタイルも変えていく勇気を持ってほしい。
	教科指導力の向上	2 研究授業のほかに教員相互の授業参観や相互批評をしているか。アクティブラーニングの手法を試みているか。	C	・消極的な生徒に対する指導法を工夫してほしい。 ・50分の授業の中で「考える」「相談する」時間を生み出す工夫をしてほしい。
		3 各種の模試・検定などの客観的データを教科会や各自で分析し、生徒の学力に応じた授業を行っているか。	C	・各教科会でさらに話題として取り上げて考察してほしい。 ・英語検定や漢字検定などの客観的データ分析が必要。
	学習習慣の確立と自主的な学びへの導き	4 (学級担任として)生徒の学習状況・学習時間を把握し、面接によって個々に即した適切な助言をしているか。	C	・副任であっても積極的に学習状況や学習時間を把握する努力をしてほしい。 ・面接に臨む前の予備調査をしっかりと行ってほしい。
		5 (教科担当として)学力や時期に応じて質的・量的に適切な課題を出して、日々の学習や計画的学習を促しているか。	C	・考査前の質問コーナーなどの利用者がさらに増えるように工夫してほしい。 ・生徒のやる気を引き出す指導を。
		6 生徒のタブレットPC利用を促すような 学びの課題や機会を、工夫して提供しているか。	C	・ICT授業をさらに進めるにはネット環境や機器の整備が必要。 ・生徒が定期的にタブレットを確認する習慣づけをする工夫を。
進路指導	希望進路の実現	7 学級担任・教科担当として3年間を見通した指導をしているか。学年会・教科会がそのために機能しているか。	B	・大学入試改革を控え学校全体で勉強していかなければならない。 ・到達目標地点をはっきりさせてそこからの逆算的指導をすべき。
新しい時代を展望できる進路指導	8 社会への視野を広げ、自分の人生の目標を考える機会としてのキャリア教育を、計画し、実施しているか。	B	・グローバル社会に適應できる人材育成のための手段を考えてほしい。 ・高校卒業後の進路のみでなく人としてどうなりたいのかなどを考える機会を与えてほしい。	
生 活 指 導	自律的生活の育成	9 服装・挨拶など生徒の自律的取り組みを促しているか。モラルや思いやりにつながる、心の指導をしているか。	C	・服装など、カジュアルデーとのメリハリをつけさせる工夫をしてほしい。 ・理由や根拠を明確にしその結果どのような成果が表れるかをわかりやすく伝えられる工夫を。
	生徒相談といじめの発見・対処	10 担任・学年・部活顧問・館職員・生徒指導係等が連携を取りながら、適切に生徒相談に当たっているか。	B	・保健室利用の生徒に対して養護教諭と担任と情報交換をし適切な利用ができるようにしてほしい。 ・本当に具合の悪い生徒が気兼ねなく行けるようにしてほしい。
		11 現在の「いじめ」の定義(注)に基づいていじめを認知し、職員間で情報を共有して適切に対応しているか。	B	・見えないところ(SNSなど)でのいじめもある可能性がありどのように発見していくかが今後の課題。
	安心・安全を守る指導、安全を考えた指導	12 校内の安全点検や日常の目配りを重視し、事故や危険を防止できているか。	B	・常にアンテナを高くして少しの異常に気付ける繊細さを持ってほしい。
13 校外での交通安全や防犯(インターネットによるトラブルの回避も含む)についての指導をしているか。		B	・SNS等は教員の目の届かない部分があるため同指導していくか常に考えておくべき。 ・子どもたちの方が知識・操作に長けているのが実情だから、先生たちが乗り遅れないように勉強してほしい。	
開かれた学校	開かれた学校づくり	14 保護者や地域の方の意見・要望をくみとり、必要なことには、すばやく、的確に対応しているか。	B	・要望が過剰な際の対応力をつけてほしい。 ・きめ細やかに対応が必要。
		15 電子媒体や紙媒体を通して、各種の情報を生徒・保護者や一般に向けて、定期的に提供しているか。	B	・Classiが導入され、通信などで頻繁にクラスやクラブの様子などを知ることができ有難い。 ・Classiならではの写真などの情報をもってアップしてほしい。
		16 地域の方や校外の団体等と交流できる機会を、生徒に提供しているか。学校として交流に寄与しているか。	B	・生徒がより多く参加できる環境をつくった方がよい。 ・文化祭を充実させてより多くの地元の方に足を運んでもらえるように。

(注)一定の人的関係がある生徒の中で、一方が他方に心理的・物理的な影響を与える行為をして、対象となった生徒が心身の苦痛を感じていること。一時的なものや謝罪して解決したもの、「いじめであった」と考える。